

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/03/27

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.98	0.16
JPY/THB	0.2257	0.0000
USD/JPY	150.57	0.66
EUR/THB	36.54	0.04
EUR/USD	1.0754	-0.0037
USD/CNH	7.280	0.014
SGD/THB	25.33	0.02
AUD/THB	21.40	0.08
USD/INR	85.72	-0.05
USD Index	104.55	0.36

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.836	-0.011
10Y (THB)	2.074	-0.009
5Y (USD)	4.098	0.030
10Y (USD)	4.352	0.039

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,022.5	-3.4
WTI (Oil)	69.65	0.65
Copper	9,927.0	-185.0

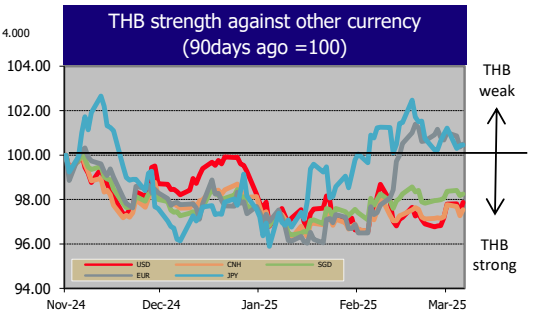
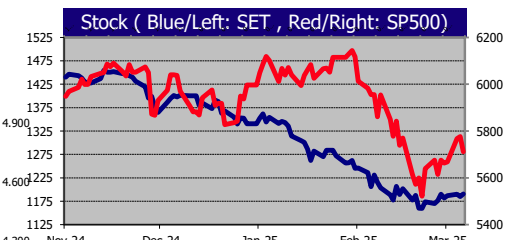
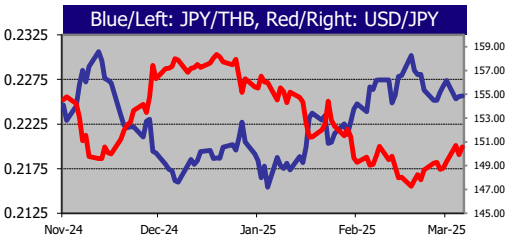
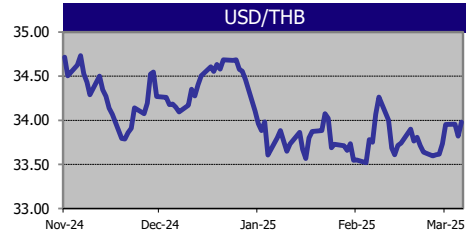
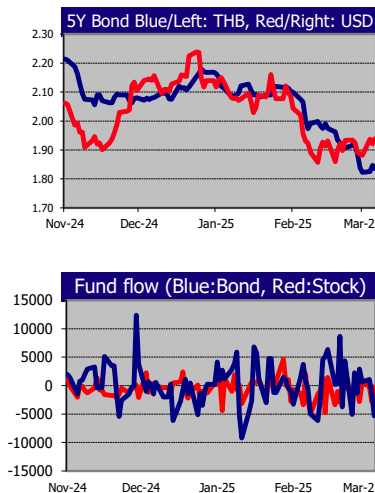
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,190.36	5.43
NIKKEI (JP)	38,027.29	246.75
DOW (US)	42,454.79	-132.71
S&P500 (US)	5,712.20	-64.45
SHCOMP (CN)	3,368.70	-1.28
DAX(GER)	22,839.03	-270.76

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(182)	2567.5
Bond net flow	(5,306)	-4116.3

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは上昇。33パーツ台後半でスタート。タイのペートンタン首相の不信任案が否決され、ドランプ相互関税への警戒感が強まる中で、バンコク時間はパーツ売りが先行し、一時34パーツ台に乗せた。売り一巡後は34パーツ手前でもみ合い推移。NY時間にトランプ米大統領が自動車関税を間もなく発表すると報じられると、様子見ムードが漂う中で、同水準の33.98レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は上昇。150円手前でスタート。植田日銀総裁が衆議院財務金融委員会で2%目標に「もうちょっとだと考えている」と述べたことを受け、円売りが先行し、一時150円半ばまで上昇。その後は伸び悩み、米金利の低下もドルの重しとなり、150円ちょうど付近まで下落。NY時間午前中に発表された米2月耐久財受注が予想を上回ったことを受け、米金利も上昇に転じたことで、再度150円台後半まで反発。その後はトランプ米大統領による自動車関税発表を待ちながら、同水準でもみ合いが続き、150.57レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

米政権の相互関税発動を4月2日に控え、金融市場では様子見姿勢が強まってきた。詳細が発表されるまでは市場への影響が読みにくいというのが背景と考えられる。昨日もトランプ米大統領が米国に輸入される自動車への25%の関税賦課について大統領令に署名し、例外措置はないとも述べたが、これまでの例だと個別調整の余地も残るとの見方もあるが、為替市場の反応は鈍かった。トランプ1.0では対中関税がメインとなったため、アジア各国は中国からの迂回輸出の恩恵もあり貿易量が拡大する結果となったが、今回の相互関税は日本含むアジアの国々にも適用される可能性が高く、米国への貿易依存が高いベトナムやタイへの悪影響が懸念される。タイパーツは、今年に入り米金利が低下するなかでもパーツ高が進んでおらず、タイ中銀が2月に実施した利下げの影響もあるのかもしれないが、今年は2月までのデータで中国人旅行者数が前年比で10%以上減少していることも、少なからずパーツ買いの需要を押し下げているのを見ている。観光収入の減少に加え、相互関税により貿易量も減少するとすると、インフレよりも経済の行方を重視するようになってきたタイ中銀の今後の動きは気になるところだ。為替市場は相互関税の発表まで一旦は様子見の地合いが続きそうだが、どちらかというリスクオフムードが蔓延するシナリオに留意しておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.